



焼津市小屋敷(小石川)

目次

| | | | |
|------------------------------|------|--------------------------|-----|
| 特別寄稿 経営事項審査の改正と経常JV | P2 | 支部だより | P9 |
| 土木部建設政策総案 建設業室長 寺田富之 | | 東部支部 秋のみどり祭りや若年労働者研修会を開催 | |
| 賞詞交歓会盛大に開催 | P3 | 中部支部 静岡英博としずおか緑・花・祭を支援 | |
| 全体会議を初めて開催 | P4 | 西部支部 一夜庭を作って関係者を驚かす | |
| 「Nations in Bloom '99」成功裡に閉幕 | P5 | お知らせコーナー・県からのお知らせ | P10 |
| やらまいかで「一夜庭」を作る | P6~7 | 平成12年度関係県予算 | P11 |
| 本部だより | P8 | 話題の森・お知らせ・編集後記 | P12 |

特別寄稿

経営事項審査の改正と経常JV



土木部建設政策総室
建設業室長 寺田富之

建設業行政の推進にあたり、皆様方には日頃から何かと御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

またこのたびは、貴会の会報に、このような発言の場を設けていただきましたことに感謝を申し上げる次第であります。

まず、経営事項審査の改正について説明いたします。

国は、平成11年7月、建設業者の経営事項審査に経営状況を的確に反映させるための改正を行いました。この改正は、平成10年7月の改正(完成工事高や技術職員数などの比重の見直し、経営力の重視、技術職員評価の見直し等)に続くもので、その主なポイントとしては、次の点があげられます。

●収益性を表す指標については、従来は「経常利益」で統一されていたが、様々な角度から企業の収益性を

分析できるようにするため、「経常利益」の他に「営業利益」及び「キャッシュフロー」の指標を導入

●新たに安定性を表す指標として、「自己資本比率」の他に建設業者の抱える有利子負債の状況に着目した「有利子不償面償倍率」及び「純支払利息比率」を導入

●生産性を表す従来の3指標については、経営状況の善し悪しを的確に反映して、いまいと考えられるため削除

●企業会計が連結決算を重視する方向にあることを受け、証券取引法に基づき連結財務諸表の作成が義務付けられている会社については、単独決算による経営状況分析の評点に加え、連結決算によるものを付記

この改正の結果、企業規模の大小による有利・不利の解消、有利子負債の指標が導入されたことにより、新たな経営状況分析では、有利子負債を多く抱えている建設業者の評点は下がり、そうでない建設業者については相対的に上がる等の影響が出ることで予想されています。

次に、経営建設共同企業体(いわゆる経常JV)について説明いたします。

経常JVとは、建設工事を請負う手段として2～3の中小建設業者が、継続的な協業関係を確保する目的で結成するものです。経常JVにおける各構成員のメリットとしては、「信用力・融資力の増大(資金負担の軽減)や危険負担の分散」、技術力の強化、拡充・経験

の増大や工事施行の確実性、「上位等級工事への参加機会の確保」、「合併のステップ」などがあります。

建設業をとりまく経営環境は、まだまだ厳しいものがありますが、県ではこの対策の一環として一昨年の暮れに、入札等への経常JVの積極活用を決め、これに取り組んでいます。また経常JVの結成促進のため、平成11年度からは、格上げの基礎となる総合数値の算定に際して、10%の嵩上げ措置を講じております。さらに経常JVの資格認定が行われた場合、単体企業と同様に、一定期間、有資格者として登録され、入札等に参加することが可能となります。この結果、県への経常JVの申請が増えています。造園工事業についても、平成10年は11JV、平成11年度は14JVと、増加の傾向にあります。

このように、県が経常JVの結成を推進する目的としては、一つには中小建設業者の受注機会を確保することにありますが、もう一つは、結成によって単体企業に足りない部分を相互に補い、経営力・実行力の強化されたJVが、将来的には合併等につながり、技術と経営に優れた、より競争に強い企業として発展していくことであります。現在、経常JVを結成されている皆様も、この趣旨を踏まえ、事業の展開を図られることを望むものであります。

加詞交歓会盛大に開催

本年も一月十八日に、静岡市紺屋町ブテ東海静岡に於て、吉岡徹郎県環境部長、相談役の栗原裕康衆議院議員、顧問の水口俊太郎県議会議員をはじめ、県、公社、関係団体等多数の御臨席を得て盛大に開催した。

渡井公平副会長の開会の辞
のあと、西野勢作会長が「今、
あらゆる産業で企業の健全化

を計り、余剰人員の削減、新規採用の手控え、経費の削減等
真剣に取り組んでいる。景気は
底をうち着実に改善の方向
にあるとは言



挨拶する西野会長

力を出している。競争の中で血が出るような努力をしている。工事は経費が削減された上、自己中心の行動が横行していくのではないかと懸念している。尊厳を確保する公共工事は安くて良いもの



顕彰の三氏

の栄誉に、西部支部・有限会社市川造園市川一男代表取締役は、現代の名工として昨年大に労働大臣表彰を、藤原造園株式会社の渡辺俊弘氏と株式会社庭仁の田中邦貴氏の二人は「技能五輪し

ずおか99」の造園部門で見事取組賞を受賞された。

を作るという理念のもと、成果は益々厳しく評価され、付加価値のあるものを作り出す能力や鋭い感性を含めた技術力がなければ二十一世紀は生き残れない。会員の皆様には、将来を見据えた広い視野に立つての一層の努力と協力をお願いしたい」とあいさつ。続いて、この一年間に、会員又はその従業員で顕彰された方々を紹介し、その栄誉をたたえ、会長から金一封が送られた。

東部支部・藤原造園株式会社 藤原利雄代表取締役は、昨年春の叙勲で勲六等瑞宝章

四氏の顕彰のあと相談役の栗原裕康衆議院議員、顧問を代表して水口俊太郎県議会議員の祝辞をいただき、杉山直哉静岡国際園芸博覧会協会専務理事の発声で祝宴にうつった。

一年に一度の懇談会で、相談役や顧問の先生方、県の各部署の幹部の皆様、農林事務所長、土木事務

所長の御出席をいただき、名刺交換、情報交換も出来て、成大なうちに終了できた。



勢揃いのメンバー

全体会議を初めて開催

一月十八日、午前十時半から静岡市紺屋町ブケ東海静岡に於て、初めての全体会議を開催し、活発な議論が交わされ、有意義なものとなった。問題提起は、各支部の活動状況を踏まえて支部から行われ次のようなやり取りがなされた。

(一) 会費について

Q (東部支部・中部支部)

工事の発注が激減しており、受

注できない会員もいる。会費の金額、売上げに応じた会費にするなど検討してはどうか。

A 会費については、社団法人

執行部の顔ぶれ



発足以来十二万円を維持してきたが、法人運営が危機的状況にあるため、平成六年度に十八万円に値上げして現在に至っている。会費の値下げは、当然事業費の削減、本部事業の縮小を伴う。これから益々、複雑多様化、発展し

ていく社会情勢の中で、現状維持でさえ、相対的には衰退であり、造園建設業を維持発展させていくには、できれば会費は値下げすることなく現状維持でいきたい。

Q (二県造協、日造協間の諸問題について)(東部支部・中部支部)

造園業界の発展を考えると

と両協会の一体化は基本理念であり、現状を、刻も早く打破して協調していかねければならない。

A 事務局が平成五年に分か

れて六年を経過したが、公益法人の役割である業界全体の地位向上を考えれば、両者の事務局は以前のように一緒にいることが望ましいと考えられる。我々の団体と予算もスタッフも比較にならないほど大きな県の外郭団体も合併、合理化に努めている。団体運営を考えれば、両者で重複するような事業活動をやっており、両者が事務局をつつにすることが理想と思われる。両団体の考えがこのような方向で一致すれば、事務局の一元化も可能であるので、県の指導を受けながら今後、検討していつてはどうか。

(二) 営業活動のあり方

Q 不況の折、公共

共、工事が少ない。可能な範囲でより広く、今以上に営業活動をしていただきたい。

A 造園建設業

発展のため、河川工事等における造園技術の売り込みとか、分離発注の要請、あるいは会員の存在のアピールなど公益法人の活動と個々の会員の営業活動とはおのずと異なる。

執行部としては、さまざまな努力をしているが、会員もどこにどんな物件がある、それに対する指名願い等は、日常の営業活動の中で各自努力していただきたい。

Q (四) 事務局職員の増員を。

解決できることかと思うが、工事発注額の多い都市住宅部からの事務局職員の増員を希望する。

A 会費値下げの要請も視野

に入れたがらの事務局職員の増員は困難であるので、都市住宅部から職員を受け入れるとすると協会の認可部費である環境部と相談しながら事務局職員の交代を行うか、両事務局の合併ができれば結果として要望がかなえられることになるが、※これらの諸問題については新執行体制がスタートする平成十二年度総会後、改めて検討することに、三月十五日開催の役員会で決定しています。



全体会議会場

花と緑のコンペティション

「Nations in Bloom '99」成功裡に閉幕

(ネイションズ・イン・ブルーム)

この2月、浜松に世界12か国28都市が参加し、一足早い春の到来。国内では、宮崎市が優秀賞を受賞。2004年のしずおか国際園芸博へ大きなステップとなった。

ネイションズ・イン・ブルーム'99は、我が協会も実行委員会の一員を務めた花と緑の国際コンペティション。趣旨は、地球上を花と緑で飾り、環境問題の改善を図ろうというもの。世界12か国・28都市が最終審査会に参加し、熟のこもった発表を展開した。このイベントは2月10日から14日までの5日間、アクトシティ浜松コンgresセンターで、展ポイイベントホールを会場に開催。どの会場も花と緑で装飾され、参加者、入場者数は一万人近くを数えた。

事業内容

1 最終審査会

○期間／11日(金)～13日(日)

○会場／21、22会議室

○内容／参加都市による発表と最終審査
審査結果は、次のとおり。

〔カテゴリーA〕最優秀賞／キャスルコブ(アイルランド)、優秀賞／ゴデリッチ(カナダ)〔同B〕最優秀賞／パリーセントエドモンド(イギリス)、優秀賞／グラッドジャンクソン(アメリカ)〔同C〕最優秀賞／リッチモンド(カナダ)、優秀賞／デモイン(アメリカ)〔同D〕最優秀賞／メレンバーク(アメリカ)、優秀賞／宮崎市(日本)〔同E〕最優秀賞／トロント(カナダ)、優秀賞／サルバドル(ブラジル)

また、特別賞として、部門別表彰が行われた。景観部門／パンスカステイア(スロバキア)、遺跡部門／リスボン(ポルトガル)、環境保護部門／ワンズワース(イギリス)、地域参加部



発表する各都市の代表

門／キャスルコブ(アイルランド)、将来計画部門／ハノヴァ(ドイツ)
なお、次回開催都市は、ワシントン、D.C(米国)に決定した。

2 関連事業

◆花と緑のシンポジウム

○期間／13日(日)

○会場／41会議室

○内容／東京農業大学・平野優三教授(農学博士)による基調スピーチとジャズホーカリスト・鈴木重子氏による対談、花と緑を歌ったナンバーの披露

◆ガーデニング・フェスティバル

○期間／11日(金)～13日(日)

○会場／展示イベントホール

○内容／ガーデニング教室、モデル庭園、ガーデニング・ショー

◆参加都市パネル展示コーナー

○期間／10日(木)～13日(日)

○会場／31会議室
○内容／参加都市を写真パネルにより紹介

◆生け花・盆栽コーナー

○期間／10日(木)～13日(日)

○会場／31会議室

○内容／日本の伝統文化の生け花、盆栽の展示紹介。お茶席による交流コーナー

統括

人口百万人を超える都市から一六一人のコミニティまで、バラエティに富んだ参加都市。最小の村であるキャスルコブが、表彰式でダブル受賞が発表された時、参加者から惜しめない拍手がおくられた。日本から参加の宮崎市も優秀賞を受賞した。今回は、審査会だけでなく、関連行事としてシンポジウム、ガーデニング・フェスティバルの実施のほか、生け花、お茶席なども設けた。外国からの参加者は、日本文化の体験、一般市民との交流なども交え、おおいに満喫していたといえる。

ガーデニング・フェスティバルでは、協会西部支部会員が中心となって地元造園業者が一致団結し、浜名湖を模した枯山水の庭園と茶室を一夜にしてつくりあげた。

四年後には、しずおか国際園芸博覧会及びIEN(国際公園レクリエーション)管理行政連合世界大会が浜松で開催される。このイベントの成功により、二〇〇四年へ向け大きな一歩を踏み出したといえる。

やらまいかで「一夜庭」を作る

協会も実行委員会と協賛団体に名を連らね、静岡国際園芸博覧会の前哨戦とも言えるネイションズ・イン・ブルームが二月十一日より十四日まで浜松市のアクトシティで開催された。その中の、ガーデニングフェスティバル部門の庭庭の様子をP.F.二〇〇四推進協議会会長で、協会副会長でもある山内敏男氏より、特別寄稿があったのでここに全文を紹介しませう。しずおか緑花祭での参考になれば幸甚である。



茶室からの一夜庭

去る二月十一日より十四日まで、浜松市のアクトシティで開催されたネイションズ・イン・ブルームは大成功の中に終了しました。

お陰様で予想を上まわるお客様の来場があり、評価を頂きました。中でも高林久男実行委員長のもとと会員が気をつとして、十ヶ月に及ぶ準備と、開催日前からの徹夜作業に八十余名が参加して渾身の努力をかたむけた「一夜庭」が多数の皆様からお答め頂いたことは大変ありがたいことです。

二月の厳寒の中、手順よく見事に統制された作業、会員の熱気が伝わって、本当に胸の熱くなる感動を覚えました。

開催にあたっては、浜松市、実行委員会、関係諸機関をはじめ、静岡県造園緑化協会、同西部支部並びに関係各位には多大な御支援と御指導を賜りましたこと、甚だお礼申し上げます。



あらかじめシートにラインを

計画に当て

基本コンセプトとして

○地域らしさの演出

○外国からの来訪客のアピール

○地元市民が親しみをもてる参加できる

○明日の造園緑化への提案

条件設定として

○会場は室内

○開催期間は三日間

○現場施工時間は十六時間

○散水等水の使用制限他

等、当初から困難

が山積してしま

た。何よりも、国

際会議でありID

PR.Aという世界

的な専門家が集

りに参加するとい

うことを考える

足らずくむ思い

がしたものです。

とにかく、基本

案を作成し、ネ

イションズ・イン

ブルーム実行委員

会の承認の後、即

刻、我が協賛委員

会が協賛委員

会として協賛

業として実施

しましたが、

組織し、実行委員長以下、各部門担当者を決定してスタートしました。それから各部門毎に、あるいは全体でと日夜調整、打合せ検討と目の回るような忙し活動をしていただきました。

展示庭園は、広さ千平方メートルの和風庭園「浜名湖をイメージした枯れ山水様式」として、浜松城と桜を主題とした借景をしつらえ、樹木材料は当地方特産のマキを主木として、浜松、浜北を中心とした材料を使用した。



茶室のセッティング

借景の絵は、地元の鈴木康雄画伯に、縦三、六メートル、横十八メートルのダイナミックな超大作を快く描いて頂きました。

イベントの展示庭園はどうか、平面的に視線を流してしまいがちなこともあり、座敷風の舞台を設置して、立止つて鑑賞して頂く場とした上に、地元浜松おかみさんの会が、和服に身をかため、茶菓の接待付きというおまけまで実現出来たのですから、雰囲気は大いに盛り上がっていました。

座敷に座つて、フレームとして縁先を通して借景を見下して見れる庭との遠近感も当初の狙い通りに仕上がったと思います。天井高の違和感もフレーム効果で軟らげる事が出来ました。ガーデンングについては、花の少ない季節ということもあり、シンプルにして広々とした明るいイメージを狙い、誰でも親しめるデザインを基本に意図しました。

実際には、多種類の花を使わないで、葉色、花色に変化を



レッカーを使つての配置、用土はパーク推肥

求めた落着いた表現となり、観客の動線は幅広く、ゆつたりとした空間構成とし、ここでは高い天井が効果的に活用出来ました。施工期間の短縮を考えた枕木積みの花壇を外周に配置して高低差を付けるなどして工夫し、木材チップレンガ等のリサイ



一夜庭の一部

アイデアを積み重ね、つなぎ合わせて、遂に不可能とも思われた作業時間、十六時間の予定を大巾に短縮して九時間余りで完成出来た次第です。豊かな施工経験者の集まりであったことは無論ですが、助け合い、励まし合つての準備と徹夜作業には、本当に敬服しております。協賛出展、即売コーナーは、造園緑化関連

ばかれるところです。今回の反省、今後についての展望等、現在取りまとめているところですが、なるべく早く報告書としてまとめたかと思っております。以上、大要だけを報告しますが、いささか自画自賛のきらいはお許し頂くとして、業界の中にあつた一つの目的に向つて燃え上がった熱気は、必ず次の成功を生むものと確信しております。

県造園緑化協会副会長
PF二〇〇四推進協議会長

山内敬男

クル製品を取入れる一方で、会員手作りのトビアリーも加わつてなごやかな会場作りになり役買つていました。展示の準備段階から会場の安全確保と室内としての制約、施工時間の見込みが十六時間も通常の工事には考えられない工夫と調整が必要でした。その結果、実施した事例として、搬入材料、資材を会場近くにストック場所を確保しておく、作業の進捗に応じて搬入する、会場の床面保護のためのシートに事前にあす図を描いておいて、当日の施行は、その図の上に配置していく等、沢山のア

業種を中心に、地元銘品として酒造メーカーにも参加していただき、なごやかに加えて、幅広い観客の興味を集めました。多種多様とは言えませんが、意欲を感じて参加して頂いてキラリと光るコーナーになったと思います。運営全般から見ると、とにかく実行委員長を筆頭に、各部門担当者の獅子奮迅の活躍があつての成功であつて、私ごときが報告することするは



洋式ガーデニングの一部

緑化技術講習会を開催

県グリーンバンク、県さくら
の会との共催で、平成十一年
度の緑化技術講習会を二月二
十六日、コンベンションアーツ
センターで開催した。

午前の部では、日本樹木医会
常任理事で、(財)東京公園協会
西部支社管理課長の山本三郎
氏が、スライドを使用しながら
「樹木診断の実際の演題で、樹
木の仕組み、木の腐る原因、樹
木の健康診断等について講義

会場での質疑時間が足りず、
講師控室にまで質問に訪れる
聴講者があった。

午後は「パリアフリーの景観
環境づくり」の演題で、コメン



緑化技術講習会

テイアーキテクト・アト
リエ士甲斐代表 越川秀
治氏が講義。

公園緑地におけるユニ
バーサルデザインの基本
技術ビデオとスライド
を使用してのパリアフリ
ーの緑地環境デザイン
「三つの事例」、まとめと
して、これからのパリアフ
リー景観環境づくりの
方向性などにについて熱の
こもった講話に聴講者は
熱心にメモをとり、質疑
を行った。

健康者では気づかない
細かな気配りまでの内容で、こ
れからはケヤリングとヒール
ングが思っくコミニティランド
スケープでなければならぬと
いう。会員一同、大いに勉強に
なつた次第である。

日本庭園石組
見学会を再度開催

静岡市造園緑化事業協同組

合(飯田正徳理事長)で受注し
ている静岡市駿府公園日本庭
園の見学会を昨年秋の行政機
関の職員に引き続き、二月十
六日には協会会員を対象に実
施したところ四十名近くの参
加者があった。



駿府公園石組み見学会

現場見学に先立って静岡市
公園緑地課の岩野義郎駿府公
園整備室長から概要説明を受
け、現場を見てまわつた。

あらゆる分野で近自然工法
とか、ビデオテープとかで論議さ
れているが、そこはこのよう
な勉強会をやっている造園業の
会員に最も技量があるものと
思う。

いろいろな現場で、ブロック
から自然石に変わつてきている
が、そこには自然景観、流れも
いりょう、単にブロックを自然
石に置き替えた感じのものも
ある。

このような石組みには、設計
図に表れない、感性が求めら
れる。協会会員はそのような
感性を培っているはずである。
これからは造園施工だけでなく
、土木部門の許可も取得し
て、土木分野にもこのような技
術を生かしてこそ、今回の見学
会も有意義なものとなる。

剪定枝条堆肥化の研究

「静岡県生活環境保全等に
関する条例」により昨年十月
一日から、剪定枝条についても
「屋外における燃焼行為」い
ゆる「野焼き」が禁止となつた。

協会技術委員会では協会全会
員を対象にその実態調査を行
い、その結果を新年号に掲載
するとともに、静岡新聞、中日
新聞でも大きく報道された。

その後、技術委員会では、そ
の処理をどうしたらよいかの
引き続き研究中であるがその
一環として大井川町にある堆
肥化プラントの見学を行った。

このプラントでは微生物を使
つて堆肥化を行い、木材チップ
でもほぼ三ヶ月で完熟堆肥に
なるという。プラントの規模は
剪定枝条の発生量に応じたも
のができるといふことで期待さ
れるが、経費面についても今後、

研究していく必要がある。

一方、三月十四日には、静岡
県中小企業団体中央会主催に
よる、剪定枝条の処理問題を
中心とした「造園業界問題意識
会」がクーパーホールで開催さ
れ、協会から川崎専務理事と
小林技術委員長が出席した。
県からは土木部、都市住宅部、
環境部の担当者が、業界から
は県下の造園事業協同組合が
出席して情報交換を行った。

その中で川崎専務理事は、
協会が実態調査結果をふまえ、
発注者に対する処理方法の明
確化と積算への算入、市町村焼
却施設の入入れ拒否に対する
指導、業界の画一的な剪定手
法の改善等を要望した。



堆肥化施設の見学

支部だより

東部支部

秋のみどり祭りや若年労働者研修会を開催



緑化相談所開設風景

東部支部では、この一年間さまざまな活動に取り組んだ。五月には天皇・皇后両陛下をお迎えして、第五十回全国植樹祭にあわせ、沿線の花を飾ろうと支部会員総出で奉仕作業に汗を出した。全国植樹祭開催日の五月三十日にはワイルドフラワーで花いっぱい予定が、自然の力は勝てず、直前になって花の咲いたポット苗を補植というハプニングを経験した。秋には沼津市で「秋のみどりまつり」が、富士市では「緑と花の百科展」が開催され、例年どおり、支部では緑の相談所を開設し、市民の庭づくり、緑化相談の対応にあたった。

中部支部

静岡葵博とせずおか緑・花祭を支援

静岡市では、市制一〇〇周年を記念して、現在「静岡葵博」が開催されている。会期は一月八日から来年の一月七日までの一年間のロングラン。そのメイン会場への花が何もない。市からなんとか協力



葵博ゲートに設置されたプランター

市からなんとか協力いただけないかと、要請に、大あわてのなか飾りつけたのがプランター一〇〇個。何しろ開場前日のことで、支部会員を動員する余裕もなく何とか設置し、花はパンジー一五〇株で殺風景な会場に彩りを添えることができた。パンジーは、その後も咲き続け、五月頃まで

西部支部

一夜庭を作つて関係者を驚かす

浜松市は、国際園芸博覧会の前哨戦としてネイションズ・イン・ブルーム99の国際会議を開催した(五頁参照)。その協賛事業として、西部支部会員も多数加入し、山内副会長が会長をつとめるPFD二〇〇四緑化推進協議会主催によるガーデニングフェスティバルを開催した。そのメインが一夜にして作った広さ千平方メートルの屋内庭園(六頁・七頁参照)。完成直後に静岡県知事や浜松市長も視察され、お誉めの言葉

は来場者の目を楽しませてくれる。また、吉田町で開催される「しずおか緑・花・祭」支援として、地元吉田町花の会の皆さんと会場へのプロシエに六〇平方メートルほどの花壇整備を行った。土を搬入したり、土壌改良材、肥料等の混入は会員が、セイヨウイワナンテン、パンジー等の植え込みは花の会が行った。きれいに完成した花壇は来年の「緑・花祭」をPRしてくれている。

の疲れも軽くなった次第である。西部では、このネイションズ・イン・ブルームで国際園芸博覧会も間近に迫ったという一種の緊張感が漂ってきた感がある。本年一月二十一日には浜松市園芸博推進課の高山善雄補佐を招いて「静岡国際園芸博の現状と今後の課題について」と題して講演会を開催し、会員四十名は熱心に耳を傾けた。



西部講演会(講師は高山園芸博推進課長補佐)

お知らせコーナー

■平成12年度建設関係資格試験・検定案内 ※建設業法による技術検定の実施予定 ●願書販売開始 ●申込受付期間 ●実施日程(時期)

| 実施時期 | 資格名 | 試験・研修名 | 12年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----------------|--|-----------------------|-----------------------|-------------------|--------------------------|----------------------|-------------------------|----------------------|--------------------|---------------|-------------------|--------------|
| 1 | 土木 施工管理技士 | 1・2級土木施工管理 技術検定試験 | 1(予定) ●願書販売開始 | 17-31 ●1級学科・2級申込受付 | | | | 2 ●1級学科試験 | 16 ●2級試験 | 17-31 ●1級実地申込受付 | 1 ●1級実地試験 | | |
| | | 2級土木施工管理 技術研修 | 1(予定) ●願書販売開始 | 17-31 ●申込受付 | | | | 各地区ごとに実施 | | | 各地区ごとに実施 | | |
| 2 | 建築 施工管理技士 | 1・2級建築施工管理 技術検定試験 | 4(予定) 18-3 ●願書販売開始 | 1級学科申込受付 | | | 11 ●1級学科試験 | 7 ●1級実地・2級 願書販売開始 | 21-4 ●1級実地・2級申込受付 | | 15 ●1級実地試験 | 12 ●2級試験 | |
| | | 2級建築施工管理 技術研修 (平成6年度～12年度まで) | 10-25 ●願書販売開始 | 11月1日(日)から規定される予定です。 | | | ■平成12年度分の研修を全3回分所で実施 | | | | | | |
| 3 | 管工事 施工管理技士 | 1・2級管工事施工管理 技術検定試験 | | | 24(予定) ●願書販売開始 | 10-24 ●1級学科・2級申込受付 | | | | 5 ●1級学科試験 | 17 ●2級試験 | 20-2 ●1級実地申込受付 | 3 ●1級実地試験 |
| | | 2級管工事施工管理 技術研修 (平成11年度～12年度まで) | | | 24(予定) ●願書販売開始 | 10-24 ●申込受付 | | | 下宿 全国16都府県で研修実施 | | | 13年1月中旬まで | |
| 4 | 電気工事 施工管理技士 | 1・2級電気工事施工管理 技術検定試験 | 4(予定) 18-3 ●願書販売開始 | 1級学科申込受付 | | | 11 ●1級学科試験 | 7 ●1級実地・2級 願書販売開始 | 21-4 ●1級実地・2級申込受付 | | 15 ●1級実地試験 | 12 ●2級試験 | |
| 5 | 造園 施工管理技士 | 1・2級造園施工管理 技術検定試験 | | | 8(予定) ●願書販売開始 | 25-8 ●1級学科・2級 申込受付 | | | | 3 ●1級学科試験 | 17 ●2級試験 | 20-2 ●1級実地申込受付 | 3 ●1級実地試験 |
| 6 | 建設機械 施工技士 | 1・2級建設機械施工 技術検定試験 | 1(予定) ●願書販売開始 | 20-17 ●1級申込受付 | | | 18 ●1級学科試験 | | | 下宿 1・2級実地試験 | | | |
| | | 2級建設機械施工 技術研修 (平成6年度～12年度まで) 研修1回(12月22日)(2次) | | | | | 1(予定) ●願書販売開始 | 18-18 ●申込受付 | | | | 下宿 研修実施 | |

- 1.3.5. (財)全国建設研修センター 〒100-0014 東京都千代田区本町1-11-30 サウスビル本町四ビル TEL 03-3581-0139(代)
- 2.4. (財)建設業振興基金(試験研修本部) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目森ビル2号館 TEL 03-5473-1581(代)
6. (社)日本建設機械化協会(試験部) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-4 虎ノ門跡ビル2F TEL 03-3433-6141(代)

場合によっては該当しない。

「自ら利用」には
どんな利用法があるか
(一)自然還元利用等
工事現場内、

①根株等が雨水等により下
流へ流出する恐れがないよう
に、安定した状態になるよう
にして自然還元利用する場合
(必要に応じて、柵工や筋工
等を適宜設置する)

②小規模な土留めとしての利
用、水路工における浸食防止
としての利用並びにチップ化し
て法面浸食防止材、マルチング
及び作業歩道の鋪装材等建設
資材として利用する場合。

(二)剥き取り表土の利用
根株等が含まれたままの剥き
取り表土を盛土材として利用
する場合、根株等は表土の一
部ととらえるため、廃棄物と
して規制する必要はない。

「製材用材等として利用」には
どんな方法があるか
いわゆる製材用材、ほだ木、
薪炭用材、パルプ用材等とし
ての利用
以上、厚生省産業廃棄物対策
室からの通知です。森林内の工
事にあたっては御留意下さい。

県からの
お知らせ

工作物の新築、改築、又は除去
に伴って生じた根株、伐採木及
び未木枝条の取扱いについて
建設業に係る木くずであった
て工作物の新築、改築又は除
去に伴って生じた廃棄物は産
業廃棄物であるが、森林内生
おいて建設工事等に伴い生ず
る根株、伐採木及び未木枝条
(以下「根株等」)は、生育して
いたその場で適切に自然還元
利用することなどにより、森
林を保全することが充実に
行われてきた。

このように森林内の工事現
場において、生活環境保全上
支障のない形態で根株等を自
然還元利用等に供すること
は、廃棄物の処理及び清掃に
関する法律の施行について
で定める「自ら利用」に該当
するもので、この場合の根株
等は廃棄物として規制する必
要のないものである。

また、根株等を製材用材等の
ように一般的に有価で取引さ
されているものとして利用する
場合は廃棄物には該当しない。

「自ら利用」には
どんな利用法があるか
(一)自然還元利用等
工事現場内、

①根株等が雨水等により下
流へ流出する恐れがないよう
に、安定した状態になるよう
にして自然還元利用する場合
(必要に応じて、柵工や筋工
等を適宜設置する)

②小規模な土留めとしての利
用、水路工における浸食防止
としての利用並びにチップ化し
て法面浸食防止材、マルチング
及び作業歩道の鋪装材等建設
資材として利用する場合。

(二)剥き取り表土の利用
根株等が含まれたままの剥き
取り表土を盛土材として利用
する場合、根株等は表土の一
部ととらえるため、廃棄物と
して規制する必要はない。

平成12年度関係県予算

平成12年度がスタートし、一年後に迫ったしずおか緑・花・祭には1,080,000千円が予算計上され、工事も最後の段階に入っている。2004年のしずおか国際園芸博覧会は執行組織がゆめ未来局から企画部へと変わり、関連予算として2,250,000千円が計上されている。

また、富士山こどもの国管理運営費、県営都市公園管理運営費等1,329,410千円は(財)静岡県総合管理公社に委託して執行される。

平成12年度に造園緑化に関係する予算には次のようなものがある。

企西部関係

| | |
|---|--------------|
| 国際園芸博覧会開催準備事業費助成 | …470,000千円 |
| (財)静岡国際園芸博覧会協会が行う会場運営基本計画の策定や広報宣伝等に対する助成。 | |
| 浜名湖ガーデンパーク整備事業費 | …1,780,000千円 |
| 浜名湖ガーデンパークの造成、植栽、橋りょう工事等。 | |
| 空港関連整備事業費 | …2,573,000千円 |
| 空港建設に必要な周辺の道路、河川の整備 | |
| 自然環境保全対策事業費 | …55,000千円 |
| 空港建設により影響を受ける自然環境の保全対策 | |

生活・文化部関係

| | |
|---------------------------------------|--------------|
| 国立公園施設整備費 | …157,200千円 |
| 東海自然歩道、伊豆山稜線歩道等の整備 | |
| 観光施設整備事業費 | …1,498,000千円 |
| 県有観光施設の整備、維持管理及び市町村等が行う観光施設整備事業に対する助成 | |

環境部関係

| | |
|-------------------|------------|
| 環境緑化推進事業費 | …213,723千円 |
| 花と緑にあふれる県づくり | |
| 県民参加の森づくり推進事業費 | …80,704千円 |
| 県民参加の森づくりの推進 | |
| 富士山環境保全3776推進事業費 | …38,840千円 |
| 富士山の総合的な環境保全対策の推進 | |

農林水産部関係

| | |
|------------------------------|------------|
| 花と緑にあふれた県づくり事業費 | …11,426千円 |
| 「花咲くしずおか」県民運動の展開 | |
| 地域環境整備事業費 | …73,500千円 |
| ため池等を中心としたビオトープの整備(朝比奈地区) | |
| 防災林造成 | …130,000千円 |
| 海岸における飛砂、潮風害等の防止のための森林造成等 | |
| 保安林整備 | …300,000千円 |
| 保安林機能の維持強化のための森林整備等 | |
| 環境保全保安林整備 | …520,000千円 |
| 緑豊かな生活環境、自然環境保全のための森林の総合的な整備 | |

土木部関係

| | |
|------------------------------------|------------|
| 花街道整備事業費 | …50,000千円 |
| 岡伏材を利用したフラワーボットの県管理道路への設置 | |
| 河川環境保全費 | …59,462千円 |
| 除草、塵芥処理等 | |
| 河川海岸環境整備費 | …130,000千円 |
| 遊歩道、緑地帯等の改良維持費 | |
| ひとにやさしい地域づくり事業費 | …204,000千円 |
| 福祉、医療、教育施設等周辺の河川整備 | |
| みずべプラン21推進事業費 | …149,000千円 |
| 護岸等治水施設の整備と併せ、人々が自然に親しめる「みずべ空間」の整備 | |
| 佐鳴湖環境対策事業費 | …20,000千円 |
| 佐鳴湖の水辺環境保全のため、植生浄化、追跡調査等 | |

都市住宅部関係

| | |
|------------------------|---------------|
| 都市計画街路事業費 | …5,067,000千円 |
| 国庫補助を受けて行う街路整備 | |
| 社会環境基盤重点街路整備事業費 | …2,558,000千円 |
| 重点的に早急な整備を必要とする街路整備 | |
| 第二東名アクセス街路整備事業費 | …490,000千円 |
| 第二東名自動車道のアクセスとなる街路整備 | |
| 県単独街路整備事業費 | …1,429,000千円 |
| 県管理の街路の整備 | |
| 都市計画街路事業費補助 | …770,500千円 |
| 市町村実施の街路整備に対する補助 | |
| 都市公園維持管理費 | …1,329,410千円 |
| 県営都市公園施設の維持、管理運営 | |
| 小笠山総合運動公園整備事業費 | …30,167,000千円 |
| スタジアム及びアリーナの建築工事等 | |
| 小笠山総合運動公園関連整備事業費 | 3,614,000千円 |
| 小笠山総合運動公園関連整備事業 | |
| 公園緑地整備事業費助成 | …204,000千円 |
| 市町村が実施する公園整備事業に対する助成 | |
| 2001年しずおか緑・花・祭開催準備事業費 | 1,080,000千円 |
| 「しずおか緑・花・祭」の会場整備及び開催準備 | |

話題の森

静岡縣都市計画地方審議会（佐西清樹会長）は十四日、二〇〇四年十二月二十一日におか国際園芸博覧会（ハシラックローラ）の終了後、開園地を都市公園の「浜名湖ガーデンパーク」として整備するための案を審議、県の計画案が可決して知事に送付した。建設法の認可後は、年内にも都市計画決定される。

二〇〇四年のしずおか国際園芸博覧会も間近となったが、その跡地の半分がガーデンパークとして整備されることが決定された。再整備管理が当然待てなくなる。最近の都市公園、近隣公園、街路樹の管理に植栽の意図、樹木の生理、形態を無視した管理がされている場合が見受けられる。会員は一層の研鑽に励み、素晴らしい公園にしなければならぬ。

浜名湖ガーデンパーク計画

県都計審答申

園芸博後、音楽堂など残し公園に

計画によると、浜名湖庄内半島（浜松市村楠町）の博覧会会場のうち東半分は約四・六ヘクタールを都市計画法に基づき公園とし、博覧会パビリオンの園芸文化館や野外音楽堂（約七千席）など並そのままで、湖の水辺、花と緑をテーマにした遊園の創出、文化産業振興、レクリエーションの場とする。

博覧会場の西半分は約二千餘は、開発の旨即座を察するため、法的規制を生じ、都市計画法定はないで民間公園とするが、東西を合わせた会場跡地全体を「ガーデンパーク」と名付けて、一体的に整備していく方針だ。

博覧会会場は、もともと「音楽公園」の予定地と位置づけられ、整備するまでの二、三年かけて博覧会場の利用が止まった状態があるが、これら公園のコンセプトは音楽や花と緑に転換されることになる。園は「音楽や光などの要素も加えているので、音楽公

会場跡地の東半分「水辺」や「花と緑」テーマ



西半分は開発の自由度残す

園をまとめた案である。このほか、一旦静岡駅北を整える案など六件ほどは、この日の審議で、平方メートル約四百四拾を申請された。

平成11年12月15日 中日新聞

お知らせ

しずおか緑花祭開会も余すところ一年後に迫りました。協会経由の出席申し込みも五十平方メートルペースで二十三ペースに達しました。

すばらしい展示ができるよう今から計画を練って下さい。

出席にあたっては、賞金トータル五百万円のコンペも行われます。

出展者には緑花祭実行委員会事務局から応募要項が送付されます。

漏れなく御応募下さい。

編集後記

春号の発行、少し遅れてしまいました。お詫言します。

本号は原の人事、予算を掲載の予定でしたが、浜松で開催されたネイションズ・インブルー・イベントをはじめ、支部活動等、盛りだくさんの記事があったので、原の人事情報を割愛させていただきました。

次号は夏号として七月一日発行の予定です。四月二十八日開催の総会、新役員人事等を紹介するとともに会員の投稿をお待ちしております。